

との山・アレキリ遺跡 (第2次)

所在地： 度会郡 玉城町 中角 (わたらいぐん たまきちょう なかつの)
発掘調査期間： 平成28年10月上旬～平成28年12月中旬 (予定)
発掘調査面積： 約720㎡ (予定)
位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) [との山・アレキリ遺跡発掘調査現場](#)

との山・アレキリ遺跡の発掘調査 <報告Ⅱ>

平成28年10月上旬から始まった「との山・アレキリ遺跡の発掘調査」の第2回報告です。

1 石鏃・剥片が見つかる

1970年の調査でアレキリ遺跡から旧石器時代のナイフ形石器や縄文時代(約13,000～2,300年前)の石鏃(矢じり)が見つかっています。

今回の調査では、奈良時代の土坑(穴)から、縄文時代の石鏃(矢じり)や、旧石器時代あるいは縄文時代のチャート製の剥片が見つかりました。



サヌカイト製の石鏃
形や大きさから縄文時代中～後期のものと思われます。



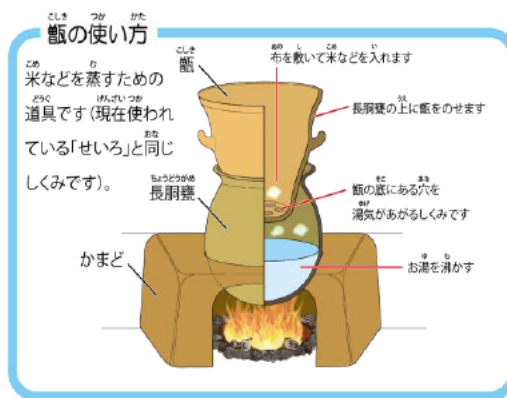
チャート製の剥片
たたいてはがした時のあとが見られます。

2 竪穴住居跡が4棟見つかる。

奈良・平安時代のものと思われる竪穴住居の跡が4棟見つかり、昨年度と合わせて7棟確認されています。焼けた土が残るカマドの跡もあり、その近くには、土師器の甕や須恵器の杯蓋、土錘(魚を獲る網に付けるおもり)などが見つかりました。

3 甕・緑釉陶器が見つかる。

約5mの大きな土坑から奈良時代の土師器が集中して出土しました。不要になった調理用の土器をまとめて捨てたものと考えられます。捨てられた土器類の中には、把手の形状が特徴的な甕がありました。この甕は、飛鳥～奈良時代(約1400～1200年前)に使用された土器です。底にあけた穴を通して、食べ物を蒸すせいろのような道具でした。



また、別の土坑から平安時代の高級な陶器である緑釉陶器のかけらも見つかりました。

今後の調査においても貴重な遺構・遺物などが見つかるのではないかと期待しています。

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課
担当者：中井・谷口一彦・萩原
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035